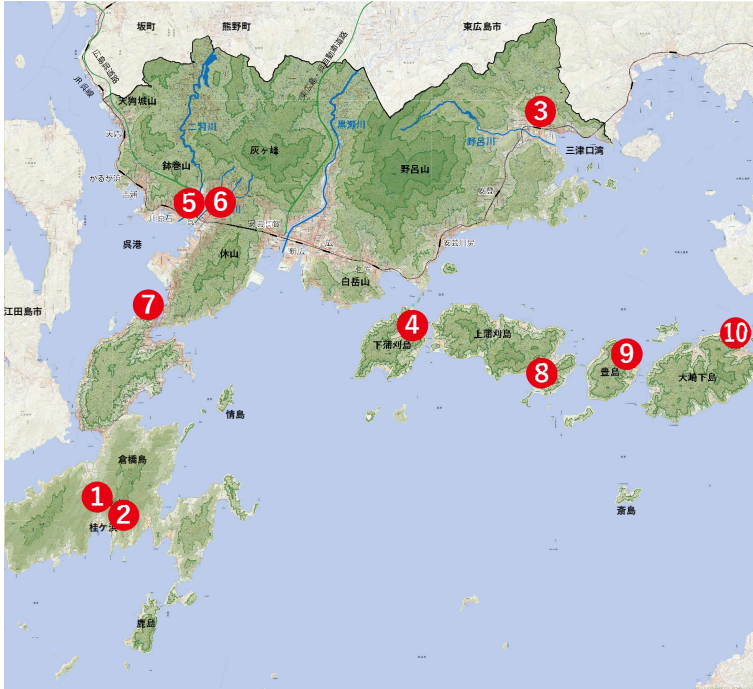


呉市の歴史文化に関連する主な施設

呉市の各地には、市内の歴史文化の魅力を多様なテーマで紹介・発信している施設が点在しています。

また、それぞれの地域で、観光ガイドや市民団体などが、地域の特色を活かした多様な活動をとおして、地域の歴史文化の魅力を発掘・発信しています。



1 	倉橋歴史民俗資料館 倉橋島の産業や暮らしの歴史を展示	2 	長門の造船歴史館 古代～現代の造船と海運業を紹介
3 	安浦歴史民俗資料館 (南薫造記念館) 南薫造のアトリエを改修し展示	4 	松濤園 朝鮮通信使関連資料などを紹介
5 	呉市海事歴史科学館 (天和ミュージアム) 明治以降の歴史と科学技術を紹介	6 	呉市歴史民俗資料館(近世文書館)郷土館 呉市の幅広い歴史資料を紹介
7 	観光文化会館 うずしお 清盛祭の大名行列などを模型で紹介	8 	かまがり古代製塩土器遺跡復元展示館 発掘したままの状態を見学可能
9 	あび資料展示室 豊島の伝統漁法「アビ漁」を紹介	10 	みかんメッセージ館 豊町のみかんづくりの歴史を紹介

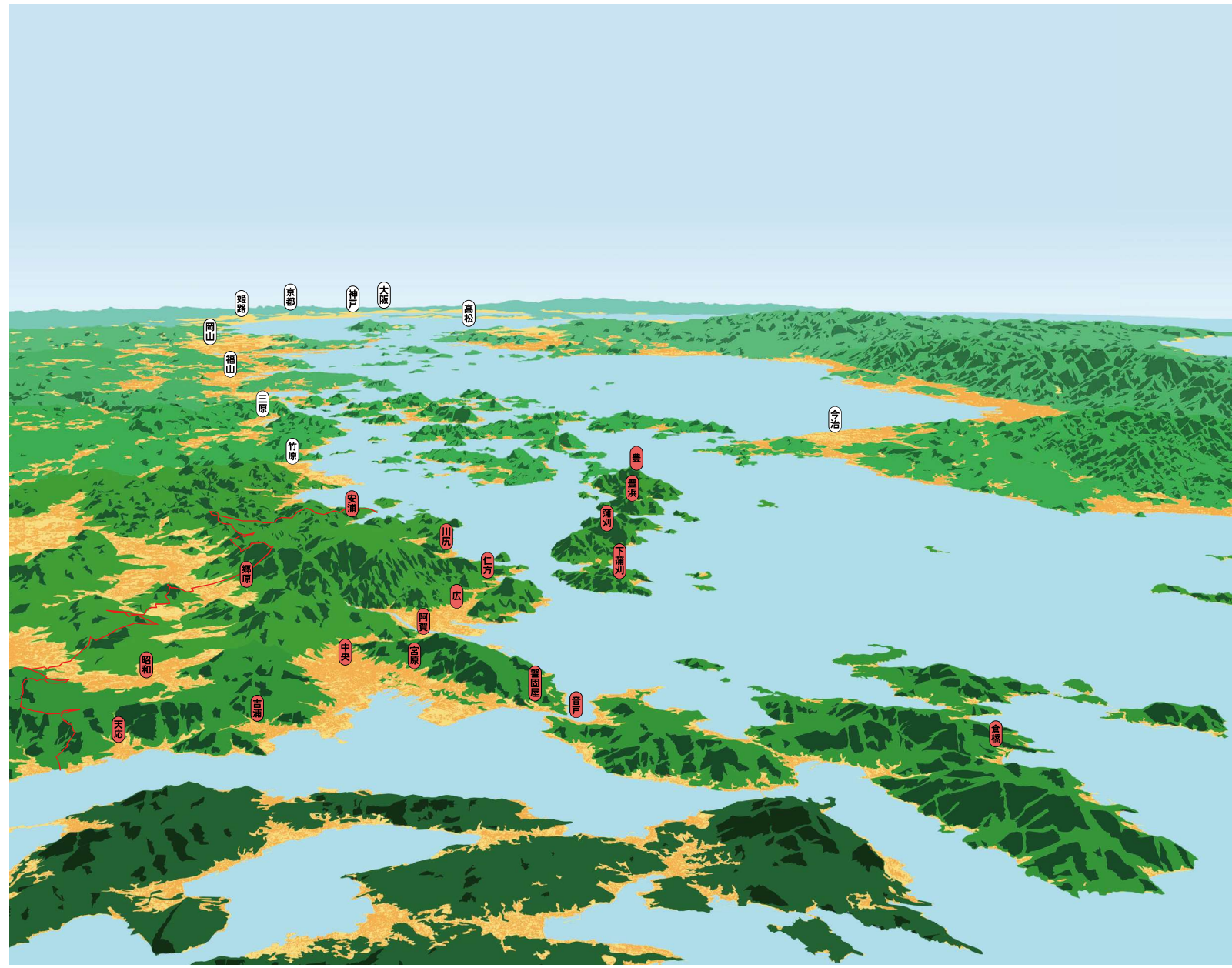
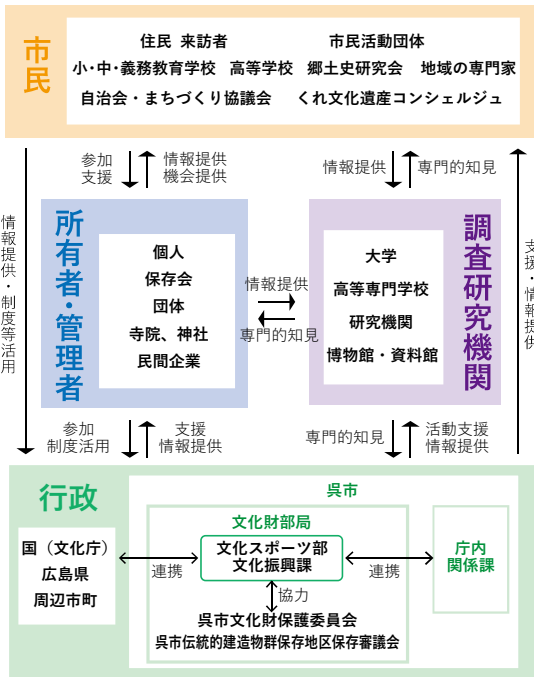
呉市 文化財 保存活用 地域計画 概要版

令和6(2024)年7月
呉市

文化財の保存・活用の将来に向けて

文化財は、呉市の長い歴史の中で生まれ、育まれ、今日まで守り伝えられてきた、市民の財産といえることができます。本計画では、市民一人一人が呉市の文化財を知り、日常生活の中で文化財に触れることで、呉市ならではの豊かな暮らしを実現するとともに、呉らしい暮らしを楽しむ中で、当たり前に関わり、保存・活用の担い手となり、将来へ継承されていくことを目指します。

呉市内では現在、文化財の保存・活用に関連して、様々な団体や市民の方々が活動しています。どの活動も地域性にあふれ、魅力的で、地域の様々な方を巻き込んだ取組をされています。本計画の作成にあたっては、数多くの市民団体や調査研究機関などにヒアリングを行ってきました。それらの取組を身近な先事例として、情報交換・意見交換を行いながら、市域全体で多様な取組を推進していきます。



呉市の未来を思い描こう

歴史文化を楽しむ 育て 伝えるまち 呉

呉市には、資源に恵まれた海や山など豊かな自然環境があり、それぞれの地区では、その豊かな自然環境を土壌とし、独自の暮らしが営まれてきました。それぞれの地区には、時代ごとに築かれてきた歴史文化を現在に伝える多彩な文化財が残されています。

そうした個性豊かな地域の暮らしを楽しむ中で、新たな文化財を見いだし、地域の魅力の源泉として磨き上げ、一層彩り豊かな呉市を将来に継承していきます。

所有者・管理者や呉市だけでなく、地域団体や市民団体、調査研究機関などの様々な人々や組織などが参加・連携・協働し、文化財を未来へつなげ、活力ある住みよい未来の呉市を実現する原動力を創ることを目的として、呉市文化財保存活用地域計画を作成しました。

計画作成の背景と目的

呉市は合併によって歴史、地勢、気候、風土の異なる地域が含まれるようになり、呉市の歴史文化は一層多様で豊かになりました。その一方で...

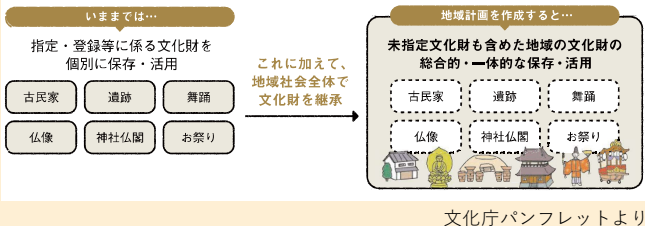
社会情勢や暮らし方の変化
地域への愛着や連帯感の希薄化
人口減少・少子高齢化

後継者不足
維持管理の負担の増大
地域の活力低下
担い手不足

歴史的建造物の減少
空き家の増加
伝統技術や祭礼行事の消失
など

文化財保存活用地域計画とは？

地域の歴史や文化に沿って多様な文化財を俯瞰し、地域総がかりで総合的・一体的に保存・活用を図り、地域振興と確実な文化財の継承を目指します。



歴史文化の特徴が紡ぐストーリーを楽しもう

呉市の歴史文化の特徴を活かした文化財の保存・活用のテーマを紹介します。テーマごとに、構成する文化財をリスト化し、相互の関係性を明確にして、文化財群として価値付けを行います。

それぞれのテーマやストーリーを活かすために、次の取組を推進します。関連するテーマで活動を行っている団体等との協働や、関連する施設の活用により、テーマごとに特色ある取組を進めていきます。

●文化財の悉皆調査

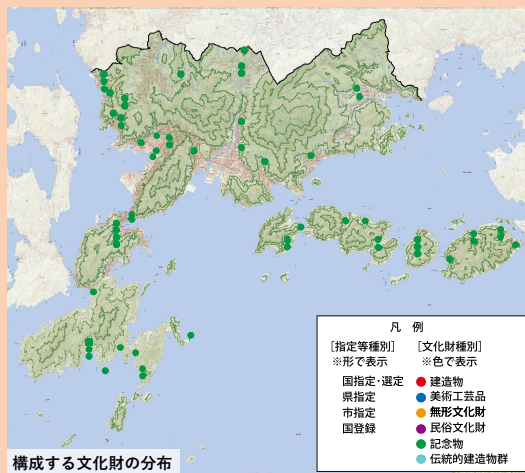
●市民団体等と連携した文化財活用事業

●文化財情報の集約

●調査研究の支援

●学校や地域における普及啓発事業

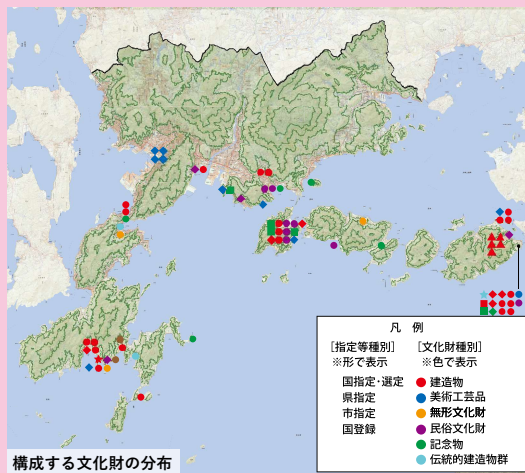
●情報発信媒体の拡充



古代より瀬戸内海海上交通の要衝であった芸予諸島は、中世には、海域を勢力基盤とする海の領主たちが権力を持つようになります。呉・能美・蒲刈を本拠とする海賊は「三ヶ島衆」と呼ばれ、大内氏直属の海賊として各地で転戦しました。大内氏にとっての瀬戸内西部の制海権の確保は、九州・四国へ渡海攻略する際、さらに海路上においても、きわめて重要な役割を果たします。



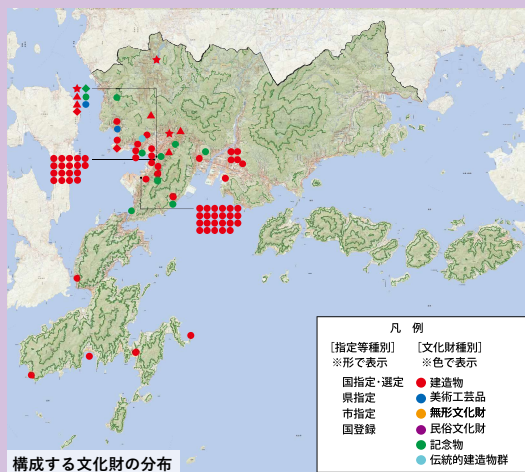
戦国の争乱により形成された海賊衆の拠点



市域の海域は古代から瀬戸内海の重要な航路でした。倉橋では遣新羅使により歌が詠まれ、亀ヶ首では和同開珎の枝銭が出土しています。音戸瀬戸は平清盛が開削したと伝えられています。近世には、三之瀬が幕府により海駅に指定され、御手洗は北前船寄港地となり発展しました。港町では町並みが形成され産業が発展し、製網、柑橘類栽培、酒造りなどが地場産業として根付きました。



海の往来と共に栄えた産業と町並み



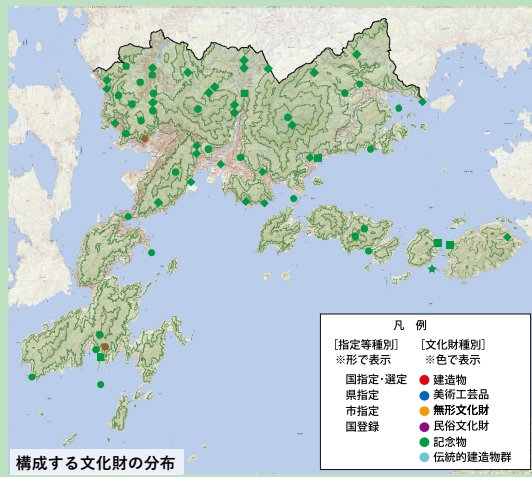
明治 22 年、呉鎮守府が開庁し、呉港は軍港として整備が進められます。日本最大の呉海軍工廠が設置され、市街地が急速に発展しました。水道整備などの近代化が進み、現在のまちの基盤が築されました。海軍施設は広く市域に設置されています。終戦により海軍は解体されますが、海軍が育んだ技術を継承し、造船、鉄鋼や機械金属を中心に“ものづくりのまち”として発展しました。



鎮守府の開庁により近代都市へと変貌を遂げた呉湾

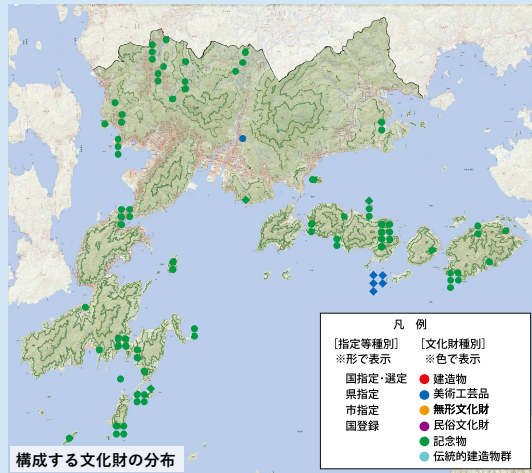
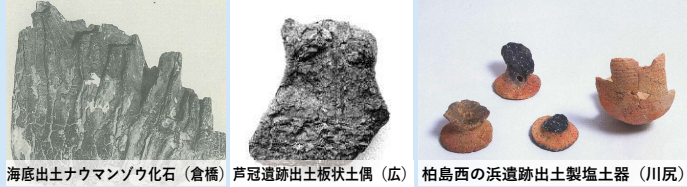
海と島と山が
織りなす絶景

海と山、川の豊かな自然に恵まれ、貴重な動物や植物が各地で見られます。連なる山々の山頂からは呉市街地や瀬戸内海を見渡せ、絶景を堪能できます。平坦地が少なく起伏量が大きいため、河川は急流が多く、滝や渓谷が形成されています。優美ながら、豪快で迫力ある景観をつくり出し、貴重な動物や水生植物が生息しています。沿岸部や島しょ部には自然海浜も残り、砂浜や岩礁が見られ、海域にはカンムリウミスズメなどの貴重な動物も生息しています。



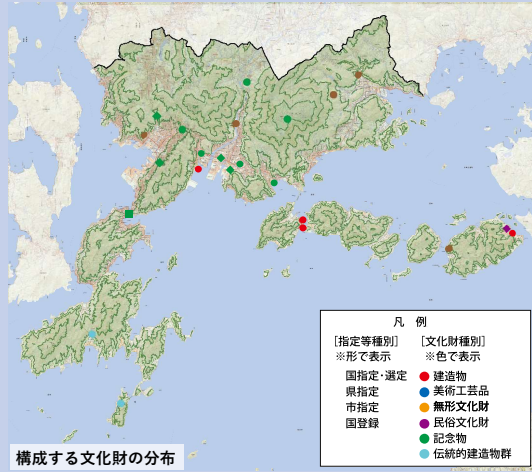
海の恵みを求め
根付いた原始の営み

呉市では、情島旧石器時代遺跡により、2万年以上前から人々が暮らしていたことが分かっています。市域での暮らしは、海を恵みとして活かすことで定着し、海運による地域外との交流を通して豊かな暮らしを築いていきます。交流により獲得したとみられる石材や精神生活の一端を示す板状土偶に見られる縄文文化、島しょ部を中心に点在する古墳や製塩遺跡、海上交通の要衝地における祭祀遺跡など、陸と海の結びつきを示す特徴的な文化財が所在しています。



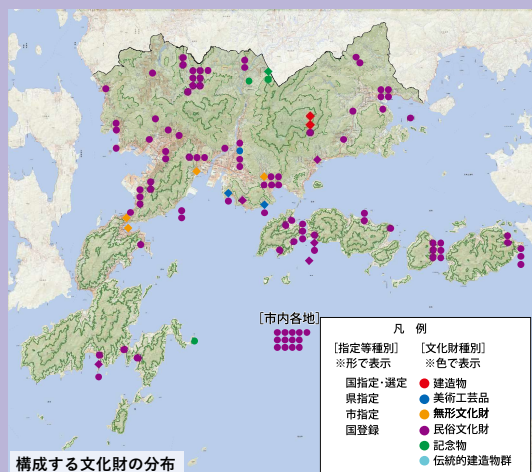
山野河海を拓き
獲得してきた大地の恵み

山と海に囲まれ、平坦な土地の少ない呉市において、現在の呉市域の宅地や耕作地の大半は、江戸時代の新開築調によって形成されました。二河川から水を引き込むための用水路として二河井手が構築され、宮原村では長渠と呼ばれる水路が整備され、農業の安定化が行われています。生活の場が限られていた呉市域では、山野河海を拓き、暮らしの場を広げ生業を創り出してきました。



海に祈る多彩な信仰と
地域に根付いた暮らし

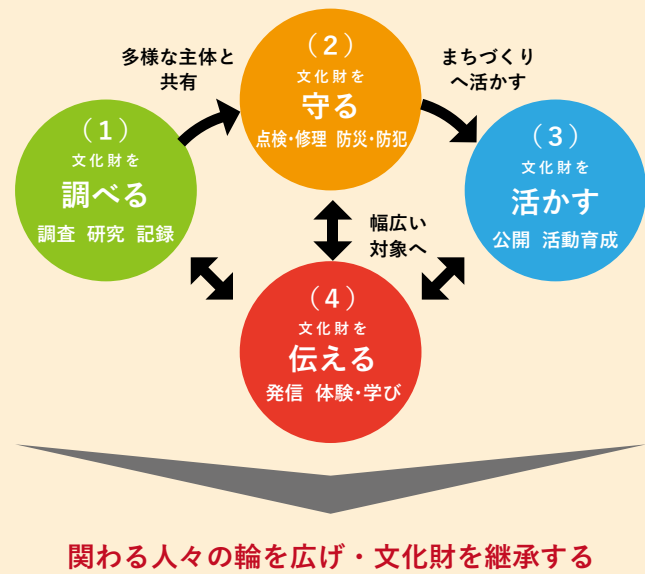
近世以降市内には、それぞれの地域での暮らしや信仰とともに、地域固有の民俗文化が育まれてきました。漁業や農業などの暮らしとともに、山や海の恵みに祈りを捧げる祭りは地域の文化として根付き、神社の祭礼等として継承されています。音戸瀬戸を渡る船頭によって唄い継がれてきた音戸の舟唄、各地の神社の例大祭で奉納される神楽や踊り、市内各地のとんどや盆踊りなどの年中行事、地域性を反映した民俗に彩られます。



呉市の文化財を継承しよう

多様な人々の参画を促しながら、持続的に文化財を継承できるよう、4つの基本方針を定めます。

- 基本方針 (1) **文化財を調べる** ことで、文化財を掘り起こし、価値を明確にし、多様な主体と共有します。
- 基本方針 (2) 文化財に対する関心や理解の促進を図り **文化財を守る** 取組を進めます。
- 基本方針 (3) 多様な主体が協働し、分野を横断した取組を展開することで、文化財の持つ価値や魅力を高め、まちづくりに **文化財を活かす** 取組を進めます。
- 基本方針 (4) 市内外の幅広い人々に向けて多様な方法で **文化財を伝える** 取組を行い、保存・活用に関わる人々の輪を広げ、継承していきます。



歴史文化の特徴が紡ぐストーリーを楽しもう

呉市の歴史文化の特徴を活かしたテーマを設定することで、市全域への取組をより具体化するとともに、4つの基本方針を一体的かつ総合的に実施します。

市内に存在する多様で膨大な文化財について、文化財群としてのテーマおよびストーリーを設定することで、市内の文化財の関係性を明確にし、関連文化財群として価値付けを行い、一体的・総合的な文化財の保存・活用を進めます。

海の往来とともに栄えた
産業と町並み



歴史資料 街道跡 施設跡
工芸品 祭礼行事 神社
まちなみ 建造物

戦国の争乱により形成
された海賊衆の拠点



城館跡 墓 山 伝承地
石造物 寺院跡

瀬戸内海航路の結節点
海を道と捉え、連なる島々を中心に結節点として形成された呉

海と島と山が織りなす
絶景



名勝地 動物 植物
地質鉱物 文化的景観

歴史文化を育む、険しく豊かな自然
瀬戸内に開かれた海・山とともに形成された呉

4つの
歴史文化の特徴
7つの
テーマ・ストーリー

呉市における人々の営みは、古くから瀬戸内海と密接な関わりを持っており、その特徴を捉えることができます。

鎮守府の開庁により近代
都市へと変貌を遂げた呉湾



近代建築物 土木構造物
石造物 戦争跡 歴史資料

海軍の軍事拠点
内海と島そして山が織りなす地形を活かした
軍事拠点として形成された呉

海に祈る多彩な信仰と
地域に根付いた暮らし



祭礼行事 伝承地 芸能
工芸品 郷土食 生業

山野河海を拓き獲得
してきた大地の恵み



土木構造物 記念碑
街道跡 施設跡 農業景観

海の恵みを求め根付いた
原始の営み



考古資料 集落跡 古墳
祭祀遺跡 製塩遺跡

海とともにある暮らし
海を恵みと捉え、狭小な浦々を生活の場として形成された呉

呉市の文化財を継承しよう

[将来像]

[基本方針]

[方針]

[主な取組]

※本計画の取組は地域総がかりで多様な主体の協働で進めていきます。それぞれの取組には取組主体の役割を記載しています。
◎：主体的に取り組む ○：協働で取り組む

歴史文化を楽しみ
育てるまち 呉

(1)
文化財を
調べる

把握

- ・市内全域の^{しっかい}悉皆調査の実施
- ・市内の収蔵資料の台帳整理

調査研究

- ・歴史文化の特徴や関連文化財群に係る調査研究の推進
- ・個別の文化財の詳細調査

維持管理

- ・保存に関する取り扱いの明示
- ・所有者・管理者への定期的な意見聴取
- ・文化財の正確な現状把握
- ・収蔵施設の確保の検討

(2)
文化財を
守る

保存に対する
支援

- ・文化財の新規指定の推進
- ・所有者・管理者の負担軽減措置の充実
- ・保存のための財源の充実
- ・無形の文化財の継承のための支援の充実

防災・防犯
対策

- ・災害・犯罪リスクの把握と対策の検討
- ・防災・防犯の普及啓発、設備整備の推進
- ・被災情報収集システムの構築、対応マニュアルの作成・周知、連携体制の構築

(3)
文化財を
活かす

活用に対する
支援

- ・活用に関する取扱いの明示
- ・文化財を活用しやすい環境の整備
- ・歴史的建造物の活用の支援
- ・市民団体等と連携した活用事業の推進

展示施設の
活用

- ・展示施設における普及啓発の充実

普及啓発
コンテンツ

- ・文化財に関する情報の集約
- ・学校や地域に対する普及啓発の充実
- ・利活用しやすい文化財情報の提供
- ・多様な世代や関心度に対応した情報発信

(4)
文化財を
伝える

人材育成

- ・文化財を普及啓発するための人材育成の推進

文化財行政
の推進体制

- ・文化財専門職員の充実
- ・文化財保護委員会の体制の充実
- ・関連部署・関連機関との連携体制の構築
- ・市民団体・調査研究機関との連携体制の構築

● 市内文化財^{しっかい}悉皆調査

近代化遺産や歴史的建造物などの未把握の分野の文化財について^{しっかい}悉皆調査を実施し、価値を明らかにしていきます。 ◎調査研究機関・呉市 ○市民・所有者等



● 関連文化財群調査研究支援事業

関連文化財群のテーマに沿って実施される、市民団体や調査研究機関による調査研究に対し支援を行い、成果を集約します。 ◎市民・所有者等・調査研究機関・呉市

● 詳細文化財調査

文化財候補リストに基づき、指定等に向けた個別文化財に関する詳細調査を計画的に実施します。 ◎調査研究機関・呉市 ○市民・所有者等

● 文化財カルテ整備事業

指定等文化財の保存を目的とした基礎資料として、現状把握調査に基づいた文化財カルテを整備します。 ◎所有者等・呉市 ○市民・調査研究機関

● 無形の文化財に係る継承者育成事業

無形文化財及び無形の民俗文化財について、新たに継承者育成を目的とした事業を支援します。 ◎市民・所有者等 ○呉市



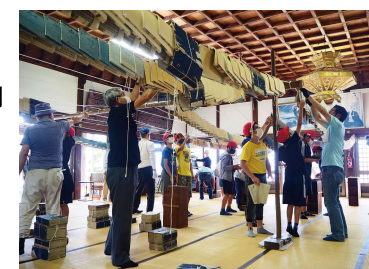
● 文化財防災・防犯 事業

文化財の災害・犯罪リスクの把握や設備整備の推進、連携体制の構築等により、文化財の防災・防犯を強化します。 ◎所有者等・呉市 ○市民



● 市民団体等と連携した文化財活用事業

文化財に関連して活動している市民団体と連携し、積極的な文化財の活用を図ります。 ◎市民・呉市 ○所有者等 調査研究機関



● 展示施設における企画展示や関連イベント

市内の各展示施設を所管する部署と連携し、関連文化財群や日本遺産等のテーマに応じた企画展示や、関連イベントの実施を検討します。 ◎調査研究機関・呉市 ○市民・所有者等



● 文化財取扱マニュアル作成事業

文化財の保存・活用を適切に行うためのマニュアルを作成し、文化財の所有者・管理者、地域住民に対して周知します。 ◎市民・所有者等・呉市 ○調査研究機関

● 学校や地域における普及啓発事業

調査研究機関や市民団体と連携し、市内教育機関や地域イベントにおける普及啓発事業を実施します。 ◎呉市 ○市民 所有者等 調査研究機関



● くれ文化遺産コンシェルジュ養成講座

文化財の普及啓発を行う人材を継続的に育成するため「くれ文化遺産コンシェルジュ養成講座」を実施します。 ◎市民・呉市 ○所有者等・調査研究機関



● 文化財専門職員の増員

専門的業務の円滑な実施及び拡充に対応するため、専門職員の増員と人材育成を図ります。 ◎呉市 ○調査研究機関